

設備管理を制する者はモノづくりを制す!

# 第61回 設備管理全国大会

設備管理・技術カンファレンス



2023年3月9日(木) ▶ 10日(金) ベルサール八重洲

(東京駅・日本橋駅)

## 大会テーマ

DX時代の設備管理への「挑戦」

カーボンニュートラル × 設備管理の考え方

考動できる人財の育成

## 発表企業

(発表分野)

旭化成株式会社  
(グローバルの保全体制構築)

イビデン株式会社  
(全員保全化活動)

ジャトコ株式会社  
(設備信頼性向上)

一般財団法人 省エネルギーセンター  
(カーボンニュートラル×設備管理)

株式会社高田工業所  
(最新の設備診断技術)

トヨタ自動車株式会社  
(TPS×DX)

日産自動車株式会社  
(設備保全×DX)

UBE株式会社  
(設備保全×DX)

株式会社LIXIL  
(原点回帰の保全人財育成)

設備管理全国大会  
企画委員会  
(モノづくりを支える設備管理エンジニア)

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会  
(設備管理の動向)

## 第61回設備管理全国大会開催に向けて

本大会は、設備管理における本格的な技術発表会として、今年度の開催で61回目を迎える歴史ある大会です。保全・工務・設計・生産技術・製造等の管理者・スタッフ・経営幹部の方々の設備管理に関する意識向上、進化に寄与すべくプログラムの構成をおこなっています。設備管理に関わる方々の地位向上、設備管理の課題解決の一助となる大会を目指し、「設備管理全国大会」を開催しております。

第61回大会では、近年、産業界全体で注目されている「DX(デジタルトランスフォーメーション)」、「カーボンニュートラル」を掛け合わせた「設備管理のあるべき姿」に向けて検討することにしました。一方で、これまでの設備管理を評価し、それを支え続けた人の想い、技術を含めた人財に、デジタル技術や環境課題に適用させながら、目指すべき人財の姿を「考動できる人財」と位置づけ、今後の人財の育成にも着目しました。

この新しいテーマと、設備管理の原点というべき人財育成のテーマをコネクトすることにより、次世代の「設備管理のあるべき姿」に向けて発信したいと考えております。

### 第59回大会テーマ

- ▶第四次産業革命の設備管理を考える  
保全業務へのデジタル技術活用  
保全技術・マネジメント  
その他(省エネ、人材育成)

### 第60回大会テーマ

- ▶デジタル時代の設備管理の「在り方」
- ▶次世代に残す「魂・想い・技術」
- ▶未来の設備管理の「あるべき姿」

### 第61回 大会テーマ

- ▶DX時代の設備管理への「挑戦」
- ▶カーボンニュートラル × 設備管理の考え方
- ▶考動できる人財の育成

設備管理  
の  
あるべき姿

挑戦

DX

カーボンニュートラル

考動できる人財の育成

大会プログラム・参加申込みに関しては、次項をご覧ください ▶▶▶



公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会

Japan Institute of Plant Maintenance

| 時間                    | 発表タイトル・発表者  | 発表概要  |
|-----------------------|---|---|
| - 09:30               | 開場・受付開始   |   |
| - 10:00<br>▼<br>10:15 | 開催のあいさつ   |   |
| 1 10:15<br>▼<br>10:45 | <b>設備管理エンジニアはすごい！！</b><br><br>設備管理全国大会 企画委員長<br>J F E スチール株式会社 顧問<br><br><b>二階堂 英幸</b>  | 本大会では、各社の設備管理のキーパーソンで組織される「企画委員会」を設置し、設備管理のトレンドや今後の方向性などを議論・共有し、大会企画等に活かしている。今回はこの議論を基に、設備管理エンジニアの役割や課題、価値創造を企画委員会からのメッセージとして紹介する。<br><br><b>&lt;モノづくりを支える設備管理エンジニア&gt;</b>           |
| 2 10:55<br>▼<br>11:55 | <b>設備管理部門と製造部門による継続した設備維持管理の進化と深化活動</b><br>～自工程の設備は自分達で守り続けられる人財育成～<br><br>イビデン株式会社<br>P K G 事業本部 生産統括部<br>設備管理部 部長<br><br><b>西村 智宏</b> | モノづくりを支える生産設備を最高の状態で維持管理し、競争力を追求し続けるために、イビデン流の「全員保全化活動」を仕組みとし、保全マンはDX技術を活用し製造マンは自社の製造保全士制度の導入で、設備/品質の維持・改善業務を全員で取り組んだ活動を紹介する。<br><br><b>&lt;全員保全化活動&gt;</b>                           |
| - 11:55<br>▼<br>13:00 | 昼休憩（昼食の提供はございません）   |   |
| 3 13:00<br>▼<br>14:00 | <b>旭化成における設備保全の現状と海外工場支援を含めた今後の展開について</b><br><br>旭化成株式会社<br>海外設備技術部 部長<br><br><b>曽根 正</b>   | 当社旭化成は、事業への貢献、環境安全の維持を目的に過去から組織的に設備保全に力を入れてきた。これを海外工場も含め、将来に渡って継続的に維持していくための、仕組み、取組みについて紹介する。<br><br><b>&lt;グローバルの保全体制構築&gt;</b>  |
| 4 14:10<br>▼<br>14:40 | <b>UBEグループにおけるデータ活用の取り組み</b><br><br>U B E 株式会社<br>生産技術部 デジタル技術グループ<br><br><b>山田 幸治</b>  | 当社では化学工場のスマート化を推進しており、データ収集から活用まで幅広い技術開発を行っている。化学工場の運転データ利活用の一貫として、予防保全へ適用が期待されるプロセス異常検知を試行し、社内に適用した事例を紹介する。<br><br><b>&lt;設備保全 × DX&gt;</b>  |
| 5 14:50<br>▼<br>15:50 | <b>デジタルでリアルをリアルタイムに改善する</b><br>～DX時代到来に向けた人財育成と職場運営～<br><br>トヨタ自動車株式会社<br>田原工場 エンジン製造部<br>第2铸造課 課長<br><br><b>小金澤 孝之</b>                 | DX時代のTPS活用法の一例として、可動率や不良率の調査・層別をする際に生じる手書き、グラフ化、印刷などのムダ・ムラ・ムリ。それらを省くため、入力したデータをリアルタイムに出力するアプリを内製化し、その活用を職場に根付かせることで、改善の正味作業を増やし、リードタイム短縮させた活動の軌跡を紹介する。<br><br><b>&lt;TPS × DX&gt;</b> |
| - 15:50<br>▼<br>16:50 | 発表者との交流会  |   |



■ 前回大会(第60回)記念動画のご紹介

第60回記念大会企画として、首都高技術株式会社 永田様（2020年12月時点）にインタビューを行いました。  
 第60回大会テーマであった「①デジタル時代の設備管理の在り方」「②次世代に残す魂・想い・技術」「③未来の設備管理のあるべき姿」の3点に関する取組事例や考えをお聞きしましたのでご紹介します。  
 なお、今回大会(第61回)の大会テーマは、第60回大会テーマを継承し、より具体的なテーマを定め、「設備管理のあるべき姿」に向けて「挑戦」することにしています。



詳細は、  
 当会YouTube  
 チャンネルへ

# 2023年3月10日(金) - 2日目プログラム -

| 時間 | 発表タイトル・発表者  | 発表概要  |
|----|---|---|
| -  | 09:30   | 開場・受付開始   |
| 6  | 10:00<br>▼<br>11:00<br>モータの駆動電流信号の解析による<br>回転機械の設備診断について<br>株式会社高田工業所<br>技術本部 企画開発部 部長<br>松本 正和                             | 製鉄や化学、社会インフラなどで回転機械は多く使用されているが、そのモータを駆動させるための電流信号を詳細に解析することにより、モータ本体およびモータで駆動される回転機械について設備診断を行う技術内容の紹介と、その技術を用いて診断した事例を紹介する。<br><最新の設備診断技術>   |
| 7  | 11:10<br>▼<br>11:40<br>設備管理はじめました。<br>～設備に興味を持つ若手の育成～<br>株式会社LIXIL<br>生産技術部 部門スタッフ<br>三木 広成                                 | これまで設備が故障してから業者頼みで復旧していた現状を変えるために、設備管理の階層別教育をスタートさせた。働き方が多様化する中で、若手社員に設備に興味を持って向き合えるような活動にしていくなために実施した実践型の実習・課題解決について紹介する。<br><原点回帰の保全人材育成>   |
| 8  | 11:40<br>▼<br>12:10<br>設備信頼性向上サイクル実現への取組<br><small>※ 発表タイトル・発表概要が変更になりました(2/16)</small><br>ジャトコ株式会社<br>工務部 保全技術課<br>山口 泰祐   | 設備信頼性向上に繋がる、再発防止・未然防止を行うため、保全設備管理システムのデータに対する改善を実施。『現場で真因を考える』のコンセプトのもと、故障データ抜け漏れ防止・精度向上を、システムのタブレット化・アプリ開発・社内教育の改善にて実現。事例と共に、取り組み内容について紹介する。<br><設備信頼性向上>  |
| -  | 12:10<br>▼<br>13:10   | 昼休憩（昼食の提供はございません）   |
| 9  | 13:10<br>▼<br>13:40<br>設備管理における<br>DXとカーボンニュートラルへの取り組み<br>公益社団法人日本プラントメンテナンス協会<br>小山 潤<br>小澤 文彦                             | 設備管理において、「設備故障の再発・未然防止」は主要課題であり、メンテナンス実態調査においても、設備管理上の課題として不動の一位である。その課題解決にあたり、近年では、IoT、ICT、AIなどのデジタル技術を活用した事例が増えている。また、喫緊の課題として、カーボンニュートラルへの取組みがあり、TPMの強化によりその課題を克服しようとする事例が増加している。このような各社の動向と取組みを紹介する。<br><設備管理の動向> |
| 10 | 13:50<br>▼<br>14:50<br>カーボンニュートラルと設備管理<br>一般財団法人省エネルギーセンター<br>CNソリューション部長<br>竹谷 則明<br><small>※ 発表者が変更になりました(1/12)</small>   | 2050年カーボンニュートラルと野心的な2030年度の温室効果ガス排出削減目標の実現には、①エネルギー消費量の削減、②エネルギーの低炭素化、③利用エネルギーの転換が重要である。今回の講演では、カーボンニュートラルの状況、工場の設備に関する事例、今後の方向、最新の事例などを紹介する。<br><カーボンニュートラル × 設備管理>  |
| 11 | 15:00<br>▼<br>16:00<br>ニッサンインテリジェントファクトリーとそれを支える保全DX<br>日産自動車株式会社<br>車両生産技術開発本部<br>プラント・メンテナンスエンジニアリング部 エキスパートリーダー<br>萩原 敬二 | 日産自動車の保全部門では、IoTなどのデジタル技術を用いた様々な業務革新を進めている。その一部として栃木工場に新設したインテリジェントファクトリーと呼ばれる車両生産ラインに導入した予知予防保全とリモートメンテナンスについて紹介する。<br><設備管理 × DX>   |
| -  | 16:00<br>▼<br>16:10   | 大会まとめ   |
| -  | 16:10<br>▼<br>16:50   | 発表者との交流会  |

- 録音・録画・撮影、およびSNSへの投稿は禁止です。守られなかった場合、著作権・肖像権侵害として対処することがございます。また今後の参加をお断りすることがございます
- 厚生労働省などの指針に従って感染予防の対策を実施いたします。詳細は、下記WEBサイトをご確認ください  
<<http://www.jipm.or.jp/offer/?id=1594282913-296511>>

# 参加申込み

お申込みは、WEBサイトから

2023年1月11日からお申込み開始!

<https://www.jipm.or.jp/>

セミナー・イベント情報 ▶ イベント情報 ▶ 設備管理全国大会 ▶ 参加申込

## 会場・アクセス

### ベルサール八重洲

東京都中央区八重洲1-3-7  
八重洲ファーストフィナンシャルビル

2階 RoomA+B+C

#### 「日本橋駅」

A7出口直結  
(東西線・銀座線・浅草線)

#### 「大手町駅」

B10出口徒歩2分  
(丸の内線・東西線・千代田線・  
半蔵門線・三田線)

#### 「三越前駅」

B3出口徒歩3分  
(半蔵門線・銀座線)

#### 「東京駅」

八重洲北口徒歩4分  
(JR線)

大きな地図は、こちらから▶[https://www.bellesalle.co.jp/shisetsu/tokyo/bs\\_yaesu/access/](https://www.bellesalle.co.jp/shisetsu/tokyo/bs_yaesu/access/)



※ 新型コロナウイルスの感染状況により、開催方法を見直す場合がございます

## 参加料 (税込み)

|       | 両日料金       | 片日料金       |
|-------|------------|------------|
| 会員価格* | ¥44,000-/名 | ¥33,000-/名 |
| 一般価格  | ¥55,000-/名 | ¥44,000-/名 |

- ※ 参加料には、テキスト (資料) 代が含まれています。
- ※ 昼食の提供はございません
- ※ 会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 (正会員・事業所会員)、もしくは一般社団法人日本能率協会 (法人会員・協賛団体会員) の会員であることが必要です
- ※ 会員ご入会の有無は、下記WEBサイトにてご確認ください
  - 公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会  
<<https://www.jipm.or.jp/company/memberlist/>>
  - 一般社団法人 日本能率協会  
<<https://list.jma-member.com/>>

会員以外の方は、  
この機会にぜひ当会会員へのご入会をご検討ください

## 参加申込方法・参加料支払方法

- 派遣窓口ご担当者、および参加者が「参加申込み規定」に同意したうえで、上記WEBサイトよりお申込みください。FAXでのお申込みはできません
- お申込みの際は、お申込みWEBサイトに記載の注意事項の内容をよくご確認のうえお申込みください
- 複数名でのご参加の場合、Excelフォームでの一括お申込みが可能です。上記WEBサイトよりExcelフォームをダウンロードしてお申込みください
- 参加申込みは、開催前日まで受付いたしますが、テキスト (資料) などご用意できないこともございますので、お早めにお申込みください
- 開催日2週間前より派遣窓口ご担当者あてに請求書を送付いたします。2023年3月末日までに、請求書に記載の銀行口座にお振込みください。なお、振込に関わる手数料は貴社にてご負担ください
- キャンセル規定  
開催当日~7日前の参加取消し : 参加料全額  
※2023年3月13日 (月)よりキャンセル不可となります  
※キャンセル・変更は、以下URLよりお願いいたします。  
<<https://info-jipm.jp/contact/>>  
お問い合わせ> イベント申込み後のお問い合わせ

## ■ 免責事項

天災地変や伝染病の流行、大会会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の当会が管理できない事由により大会内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、当会ではその責任を負いかねます

## ■ 個人情報に関する取り扱いについて

ご記入いただいた個人情報は、当大会の運営・管理・資料送付、出欠の確認等に利用いたします。また、後日、当会より事業・サービス・セミナー等のご案内を送付させていただく場合がございます。当会は、ご提供いただいた個人情報を当会のプライバシーポリシーに則って安全対策を施し適切に管理いたします。当会のプライバシーポリシー、個人情報の開示・訂正・削除等の詳細につきましては、当会ホームページ (<https://www.jipm.or.jp/>) をご覧ください

## 問合せ先

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会 普及推進部

TEL : 0120-451-466 (または03-6865-6081) E-mail : EVENT@jipm.or.jp

大会企画  
委員

委員長：二階堂 英幸 (JFE スチール株式会社)

委員：澤江 孝浩 (出光興産株式会社)

委員：伊藤 透 (株式会社デンソー)

委員：加藤 浩史 (日産自動車株式会社)

委員：吉田 信行 (富士フイルムエンジニアリング株式会社)

委員：重藤 祐二 (ポッシュ株式会社)

委員：鈴置 智 (日本プラントメンテナンス協会)

委員：松田 善介 (日本プラントメンテナンス協会)